

日立 1石 1 Band T-728

回路構成

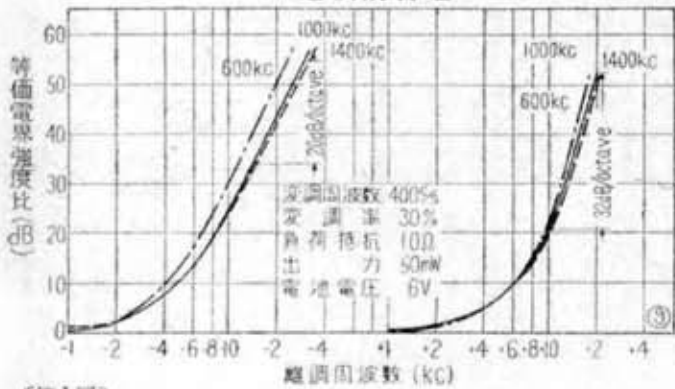
中間周波2段、低周波2段の典型的なスーパーで、7石、2ダイオードとなっている。局部発振回路は自動を用いたので、1石少なくなった。時計付きのため、低周波増幅段に目覚し用の音を出す回路(発振回路)を用いているのが特徴。

スピーカは8cm、電源は6V。

測定結果をみて

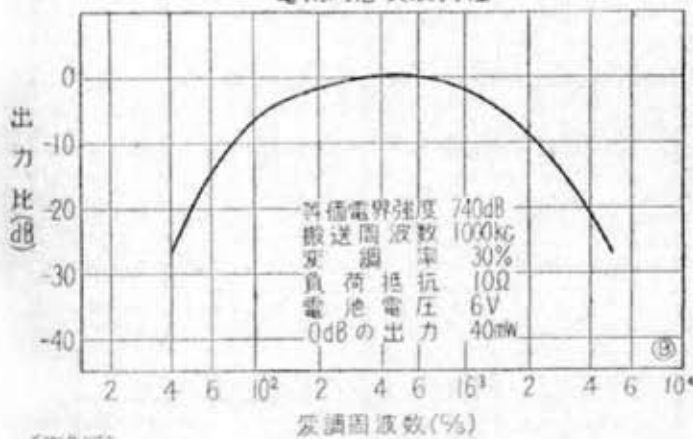
感度特性は、最大感度もよいが、実用感度がほとんどフラットで、しかも60dB以下だから、本測定中では最もよいほう

選択度特性



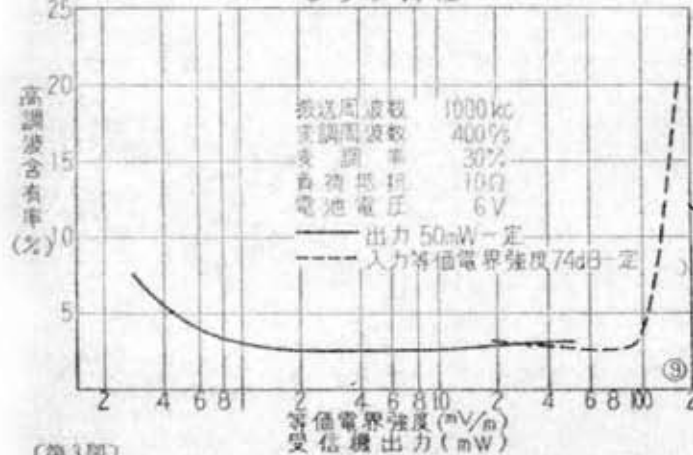
(第1図)

電氣的忠実度特性



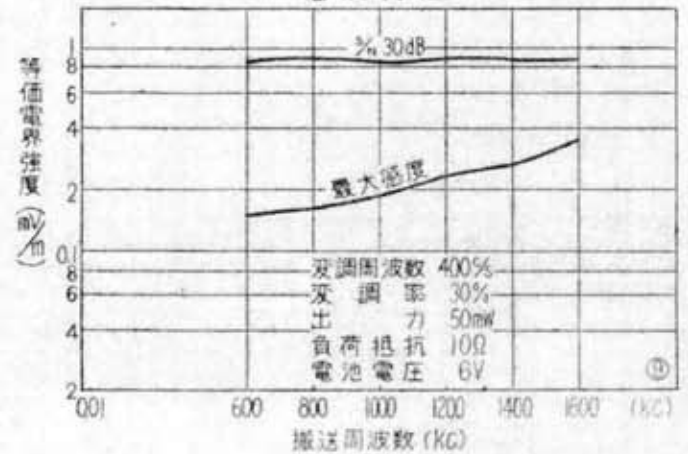
(第2図)

ひずみ特性



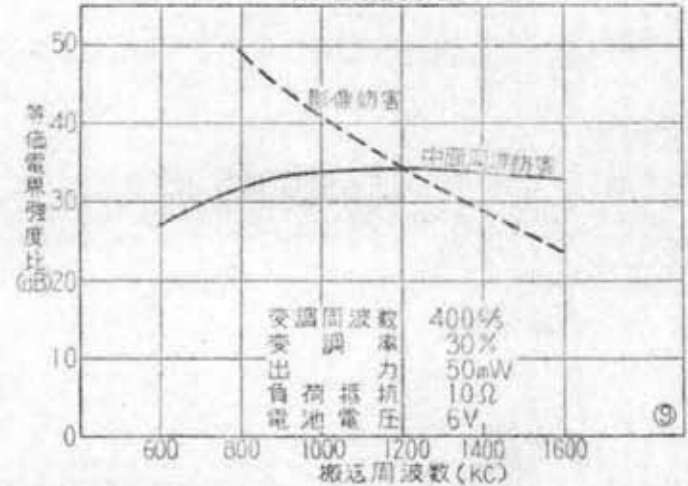
(第3図)

感度特性

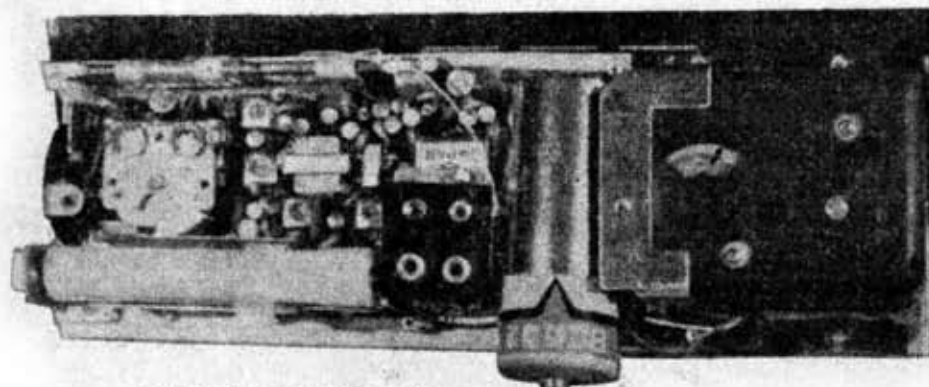


(第4図)

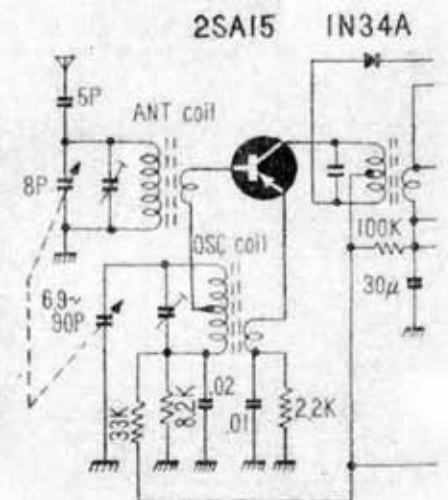
妨害比特性



(第5図)

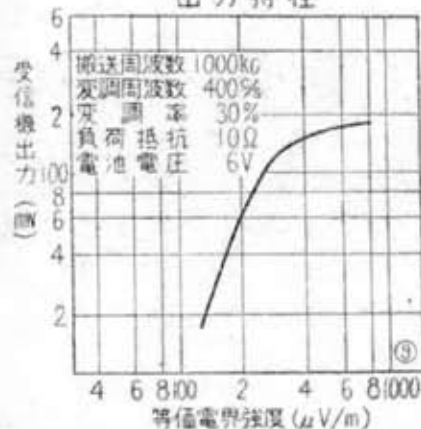


＜本機のカバーを外したところ＞



正 価 11,800 円

出力特性



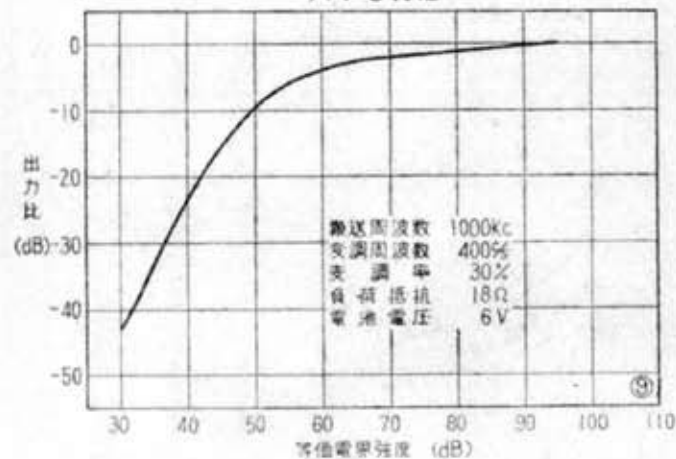
(第6図)

だ。感度差も最大感度で7.5dB、実用感度で1.5dBと悪くない。

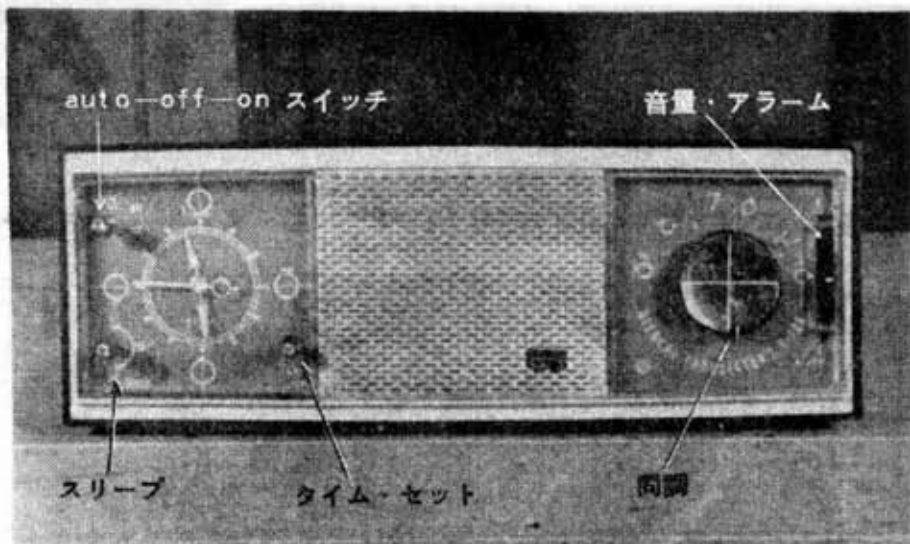
出力は無ひずみで140mWだが、小部屋なら実用上さしつかえない値だ。妨害比は、イメージ、中間周波とも典型的カーブでたいへんよい。

選択度特性は左右少し不釣合いでも、ひずみは2.7%でいいようだ。

AVC特性



(第7図)



電氣的忠実度もふつうだし、AVC 特性も45dBでよくきいている。

その他

外観は、横長でモダンなデザインとなつている。とくに、時計付きなので左右シンメトリーの配置が特徴的。

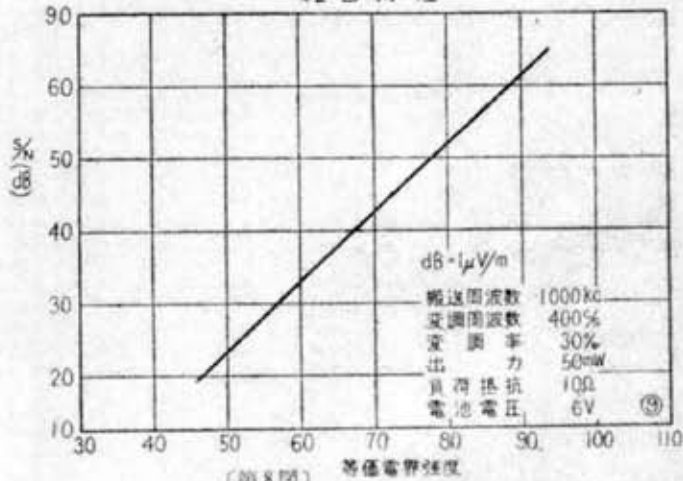
バリコンはエアーの小形で、電池はラジオ部に単三、時計に単一を用いている。(この種の単三は、相談室での実用試験によれば、4時間/日使用で

平均60~70時間くらい寿命がある。IFTは10mmである。

なお、時計は、たいへんウマイ操作になつていて、目覚しにラジオが入るばかりか、60分間まで自由に時間を定めて聴かれるタイムスイッチにも作られ、希望時に自然にスイッチが切れ、翌朝きまつた時刻にまたスイッチが自動的に入るてな仕掛けである。

寸法 幅266×高さ98×奥行56mm、重さ900g

雑音特性



(第8図)

